平成２２年度　事業実施計画

１　大学等連携事業

（１）小中高大連携事業

・ 大学生が積極的に参画して実施する、夏休み等に行う子ども向け体験イベントを支援。

・ 小中高大連携 WG での検討結果を基に、小中学校のニーズがある講座や学校インターンシップ等、学生が積極的に参加できる連携事業を企画。

（２）大学による地域貢献活動事業

・ 大学や学生による地域貢献活動の支援及びプロデュース。

　地域の大学や学生に期待するニーズ、大学や学生からのシーズを把握し、地域との連携を図る。

・ 地域貢献 WG での検討結果を基に連携事業を企画。

（３）主要課題調査研究事業

・ 大学が共通で抱えている課題解決に向け調査研究等を行う。

　① 防災、交通、留学生等の課題について、主に八王子市と大学間で進展した事項を報告し意見交換することにより情報共有と新たな事業展開を検討する。

　② 「災害時用備蓄等の物資の供給等に関する相互応援協定」の見直しを行う。

（４）大学理事長・学長と市長との懇談会の開催

・ 大学理事長・学長・市長が一堂に会し、懇談会を開催する。

（５）ニューＦＤ・ＳＤ事業

・ 八王子未来学連携・協議し、「ニューＦＤ・ＳＤ」を引き継ぐ方策を検討する。

　① 八王子未来学と「ニューＦＤ・ＳＤ」をコンソーシアムで引継ぐ方策を検討する。

（６）単位互換事業

・ 学園都市大学で行っている単位互換を発展させ、全ての加盟大学が参加できる単位互換制度を導入。

　① 単位互換を導入する上での問題点を調査・整理し、仕組みを構築する。

　② 学園都市センターを会場とした単位互換の講座（学園都市大学の持出講座）を多く開講できるよう各大学の担当者と調整する。

　③ ホームページの開設、募集案内を作成する。

　④ 遠隔授業の実現性と効果の検証、通信インフラ整備を検討する。

２　情報発信事業

（１）情報誌等による情報発信

・ コンソーシアム情報誌の発行。

　年２回情報紙の発行。（年２回）

　　３号　タブロイド４頁　新聞折込　２０万部（学園祭情報）

　　４号　タブロイド２頁　新聞折込　２０万部（学生発表会）

・ 新入生向け情報誌（シティインデックス）の発行。

　年１回（４月）に発行する。

・ 単位互換利用案内

（２）ウェブサイトによる情報発信

・ ウェブサイトの運営。

・ モバイル版ウェブサイトの作成を検討。

（３）学生サークル団体や大学のイベント情報収集及び発信

・ 学生サークル団体の情報収集及び発信について検討。

・ 大学イベント情報、各種情報をＥメールなど活用し情報収集・配信。

（４）電子掲示板による情報発信運営

・ 八王子未来学で行っている電子掲示板による情報発信を、どのように引き継ぐか検討する。

３　学生活動支援事業

（１）学生活動支援

・ 学生のイベント活動等を支援。

① 「学生フェスティバル」と「学生天国」の開催方法を検討し、支援する。

② 学生バンドコンテストを学生の企画で実施するなど見直しを行う。

（２）地域交流事業

・ 学生委員会が中心となり実施する街中活動やフェアトレード普及活動等による学生と地域の交流活動を支援する。

（３）学生企画イベント補助

・ 複数の大学の学生が市民や他大学の学生と実施するイベント企画への補助。

４　産学公連携事業

（１）八王子未来学構想推進事業

・ 八王子未来学構想を引き継ぐ準備を進める。

八王子未来学構想

専門コーディネーターを中心に、地域課題（地域産業振興、自然・環境・観光、地域福祉・生涯学習、国際化等）を研究する大学間の教員・学生の知のネットワークを構築。課題ごとにグループを形成し、研究成果を市民・小中学生に還元する。

（２）学生調査研究成果発表事業

・ 「学生発表会」の開催。

① 発表だけに留まらず、学生の研究・提言が実現化する方策を検討する。

② 学生と市長とのふれあいトークを学生発表会と一体として実施することを検討する。

（３）教員データベースの運用

・ 八王子未来学で作成する「教員データベース」を引き継ぐ準備を進める。

（４）学生インターンシップ事業

・ 商工会議所、ＴＡＭＡ協会、市、市教育委員会が実施するインターンシップ事業の情報を収集し、効果的なインターンシップのあり方を研究する。

（５）産学共同研究及び技術開発型競技会等出場助成事業

・ 学生の研究活動を支援。

① 産学共同による研究活動へ補助金を支給する。

② 技術開発型競技会へ出場する学生へ補助金を支給する。

③ 産学共同研究成果発表会を開催し、市民や企業等へ産学連携をアピールする。

（６）産学共同研究プロジェクト施設提供の事業（インキュベーション）

５　生涯学習推進事業

（１）八王子学園都市大学の実施

・ 学園都市大学をコンソーシアムの主要事業と位置付ける。

・ 八王子未来学で研究されたテーマに関する講座の実施について検討する。

・ That’s 八王子学を支援する。

・ 大学等連携事業で行う「単位互換事業」との連携を図る。

（２）大学図書館・運動施設等の連携推進事業

・ 大学施設の開放状況の周知拡大。

① ホームページで公開している大学施設の市民開放情報を継続すると共に、新たな市民周知方策（いちょう塾の講座案内、情報誌など）について検討する。

② 大学施設開放の更なる推進を行う。

６　外国人留学生支援事業

（１）外国人留学生の住宅問題の解決に向けた取組みを実施

・ 商工会議所と連携を図り、留学生に住宅の空き情報を知らせる。

（２）市・国際協会等による留学生支援事業との連携強化

・ 留学生同士や日本人学生・市民との交流促進。

・ 留学生日本語弁論大会を開催するなど、留学生同士や日本人学生･市民との交流を図る。

（３）留学生対策 WG での検討結果を基に連携事業を企画

７　法人化へ向けた取組み

（１）法人化へ向けた取組みの検討

・ 大学コンソーシアム八王子が法人化を目指すための、準備・検討を行う。

運営及び組織等の体制の整備

（１）法人化へ向けた取組みの検討

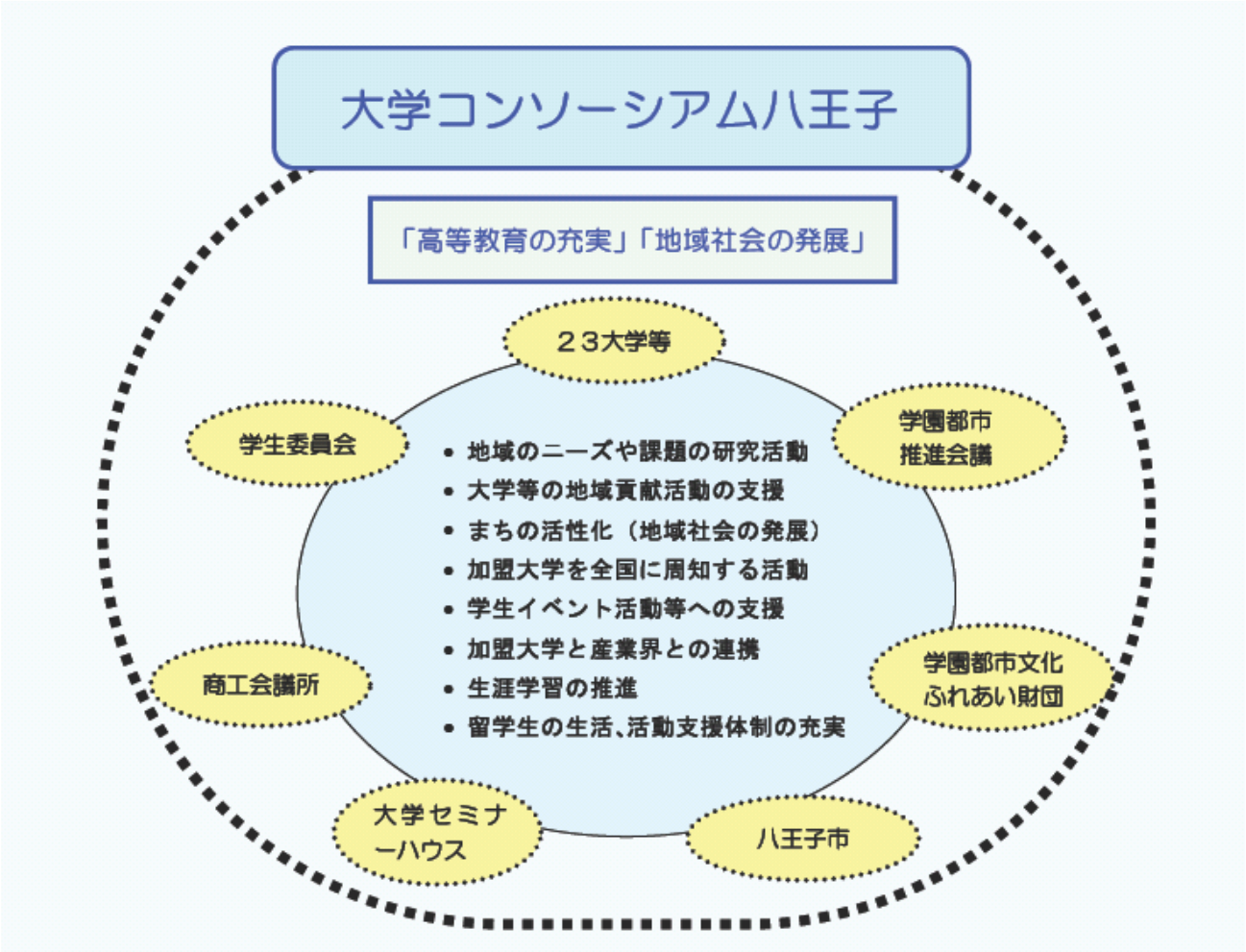
・ 大学コンソーシアム八王子の法人化を目指し、準備・検討を行う。

（２）先進団体視察調査

・ 大学コンソーシアム八王子の効果的な運営や新たな事業展開等の参考とするため、他地域の先進団体の先進的な取り組みを視察調査する。

＜参考＞

大学コンソーシアム八王子の概要



八王子地域23大学等の地域特性を活かし、大学・市民・経済団体・企業・行政などが連携・協働し、産学公による共同研究、生涯学習の推進、情報の発信、学生と市民との交流、外国人留学生の支援等に取り組むことにより、高等教育の充実、地域社会の発展並びに地域の国際化の推進などを図り、大学・学生、市民・企業それぞれが、地域に大学があるメリットを感じることができる魅力ある学園都市の形成を目指す。